JUMP COMICS

スライムもりもり

スラリンと復活の勇車

2

かねこ統（おさむ）
Kaneko Osamu

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、
いっさい関係ありません。デジタル配信用に再編集を行っています。

JUMP COMICS

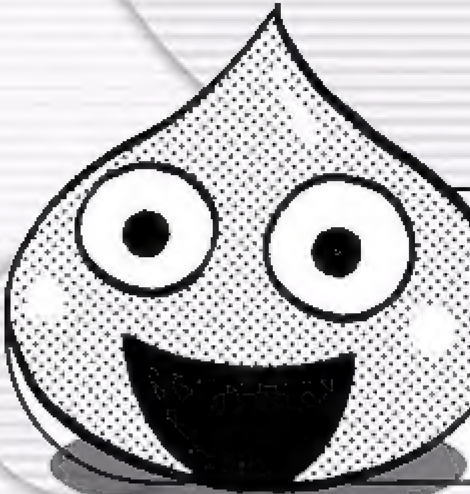
スライムもりもり

スラリンと復活の勇車 2

かねこ統
Kaneko Osamu

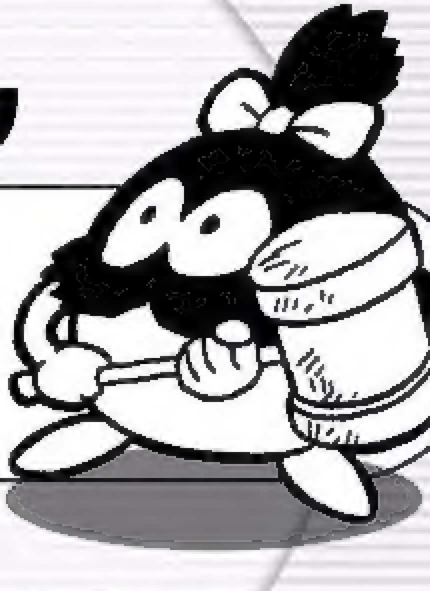
スライムもりもりキャラクターズ

スラリン



幻の珍獣と言われるスライム族で本作の主人公。普段は少しおとぼけキャラだが、熱い心と勇気を持っている。必殺技のスラ・ストライクは超強力！

タンタン

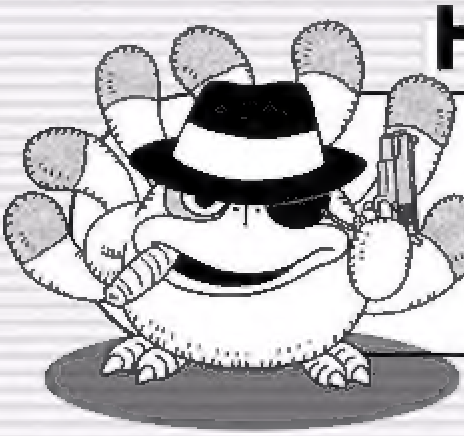


元しっぽ団員で、スラリンの相棒。トレードマークのはずの木づちはどこへやら。戦いはスラリンにまかせ、「つっこみ」に命を懸けるお調子者。

ミイホン

スラリンの幼なじみでアニキ的な存在。しかし、スラリン達と再会した時には、しっぽ団の一員になっていた。その真相は一体…!?

ドン・モジャール



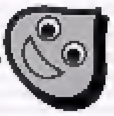
しっぽ団のボス。世界を3日で焼きつくす程の魔力を持っていると言われている。実際に会った事がある者が少なく、くわしい事は、ほとんど知られていない。

ギガお

しっぽ団いちの怪力と、どんな攻撃もはね返す鉄壁の防御力を持つ、ドン・モジャールの右腕的存在。はたして、この圧倒的な強さを誇るギガおに勝てる者は、いるのだろうか!?

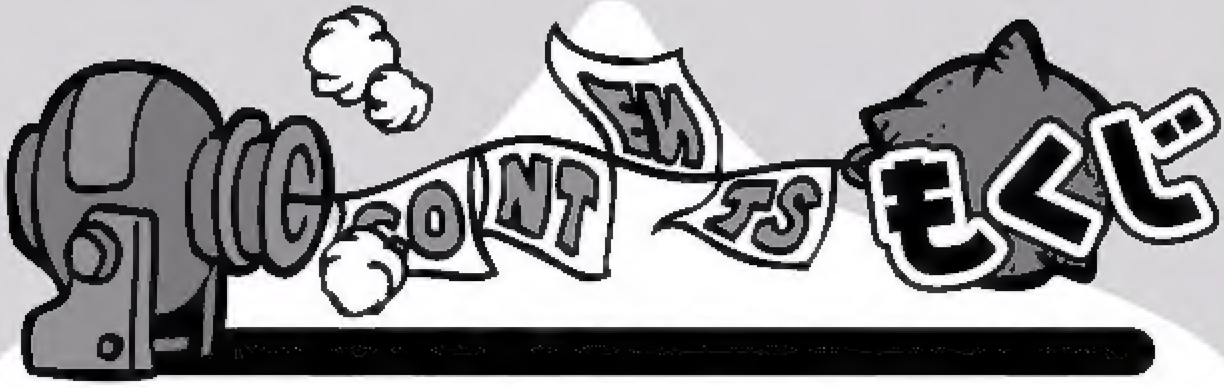
グランじいさん

スラリンやミイホンの故郷、スーランの町の長老。スラバッカ島に伝わる勇者と勇車の伝説など、色んな事を知っている物知りじいさん。



前巻のあらすじ

スライム族の楽園、スラバッカ島から見知らぬ平原に飛ばされてしまった**スラリン**。そこで出会った**タンタン**と共に、故郷を目指す冒険が始まった。その道中、幻の珍獣と呼ばれるスライムを探していた**しっぽ団**に狙われながらも、海賊達の協力も得たスラリンは故郷に帰る事が出来た。しかし、その故郷・スーランの町は破壊され、町の皆はしっぽ団に囚われていた！そこで、スラリンは皆が囚われている鉱山に潜入。皆を解放する事に成功するが、幼なじみの**ミイホン**はしっぽ団の一員になっており、スラリンの家族だけは囚われたままだった。さらに、しっぽ団の**巨大メカ**がスーランの町を目指して進撃を開始！　スラリン達はそれを止める為に**伝説の勇車**を復活させようと勇者の祠を訪れたのだが、勇車の復活には伝説の資材の**勇者の剣**・**勇者の盾**・**勇者のカブト**が必要だという事が分かって…!?



第7章 スラリンと復活の勇者 7

第21もり 8
第22もり 18
第23もり 28
第24もり 38

第8章 スラリンと未知なる必殺技 49

第25もり 50
第26もり 60
第27もり 70

第9章 スラリンと恐怖の催眠術 81

第28もり 82
第29もり 92
第30もり 102

第10章 スラリンとミイホン 113

第31もり 114
第32もり 124
第33もり 134
第34もり 144

第11章 スラリンと町の警備隊 155

第35もり 156
第36もり 166
第37もり 176

番外編 タンタンと木づち 187

第7章

スラリンと復活の勇車

第21もり

カエルがなにやらかぶってやすが…
ザッ
まさかアレがソレじゃないよね…
そんなカンタンにみつからないっしょ
伝説だもん
だよねー
しかもカエルがかぶってるワケないよね
ゲロゲーロ
…
いちおう確認しやすか…
ねんのためね…
そうだね…
ジャジャーン!!
やまびこの笛ーー!!

伝説の資材の近くでこの笛を吹きながら歌をうたうと資材が反応するんぜふ
——って言ってたなヨーゼフは
ウキじゃねんだよ
チャポン…
——ってつりすんな!!
まったく…
はやく吹けよ!
この笛水が入ってるよ
ちゃぷちゃぷっ
ど
お
おまえがやったんだろ!!
ピ〜ポプピー
ペピ〜プ
ピプ〜
ラララ
でんせつの〜
しざいは〜
どぉ〜こえす
やぁお〜
ルルル

は〜い わたしが〜
でんせつの しざいでぇ〜〜す
やはりアレが伝説の資材のひとつ…
勇者のカブト
じゃあ あのカエルが勇者？
ちがうだろ
ゲロ
ゲロ
しかし…どうやって取りやしょ？
むう…
毛バリでいくか！
キャキャ
そんなにつりしたいか
く
わ

!?
くいついた!!
ぷら〜ん
ゲロ
ん?
カブトはオレのもんじゃ〜〜〜!!
だれがきさまらに渡すか!!
ゲ〜〜〜!!
背中がしゃべった!!
人面ガエルだ
オレが沼の底で見つ…
くる〜ん
ゲロゲロ
………!!

……けて気に入ってんだ!
くる
だれにもやらね……!
ぷら～ん
ゲコ
ぷら～ん
さっさと地面におろせ!!
ぐあああ
あははは
バカにしやがって……!
くらえ!!
ゴォオオ…!!
!!

ひい〜〜〜!!
カッ
はっ!!
ドッ
!?
なにイ!?
オレさまの炎の息を…
気合いでまっぷたつに裂きやがった
MJってそんな特技もってたの
すげ〜
やるじゃん
てえしたことねエですぜ
ちょっとあつかった↗

キッ
カエルのだんな！
おとなしくカブトをゆずっていただけねェですかい？
手あらなマネはしたくねェんで…
こいつ…ただの犬じゃねェぞ…
まだなんか技をもってやがるか…!?
ぬう
……ああは言ったがヘタに動けば炎のえじきだ
防ぎょだけでせいいっぱいだぜ
それもいつまでもつか…
くっ
カサ
カサ
さきほどからリング上では緊迫したにらみ合いがつづいております
放送席
実況してる場合かよ
そうだ
!

トコトコトコトコ
カエルくんカブトくれる?
ゲロゲロ
交渉成立
ゲコゲコ
ホントかよ…?
おっしゃー!
勇者のカブトを手に入れたぞ〜〜!!
残る伝説の資材はあとふたつだ!!

え? あ?
いつのまに…!?
てめえ!! 勝手にもうひとりのオレと交渉しやがって!!
もうひとりのオレ
まてコラ〜〜!!
正々堂々勝負しやがれ!!
むっ…
残りふたつもすぐ手に入りそうだね
わりと楽勝だったね

第22もり

ドーン!
撃て撃て〜!!
ドーン!
ゴワー!
スーランビーチ付近の海域ではしっぽ団との抗戦が始まっていた
ギャハハハハ
ムダな抵抗もじゃああ!!

スラリンが勇車を見つけてくるまで少しでも時間をかせぐんだ！
うわー
ズガーン！
もちこたえろ!!
船長が敵をくいとめてくれている間に…砦を完成させるのです!!
トンカンッ
トンカンッ
トンカンッ
この岩をむこうに運んでくれ
いま手えはなせへんねん！
スラリン……
勇車はまだ見つからぬか!!…!?

あち〜
ダラ
ダラ
サバ砂漠
このどこかにふたつめの伝説の資材
勇者の剣があるハズでやんすが……
ドーン
どこかって……
けっこう広そうだよね

!?
大ミミズだ〜〜〜!!
ひ〜〜〜!
くわれる〜〜〜〜!!

胃ぐすりないミズ？
はぁ？
ズコ
胃ぐすり…？
さいきんやたらと胃が…
チクチク痛むミズ
チクチク……？
まさか…!!
あ！
チクチクする…
――ってなにやってんの!!

勇者の剣をのみこんじまってんじゃねェですかい？
うむ
確認してみよう
ピーポピプペ〜
パポ〜
ラララ
でんせつの〜
ルルル
しざいは〜
どぉ〜こです
かぁあ〜
はぁ〜い
わたしはミミズの
ハラのなぁか〜〜
やはりそうか!!
う〜む
ハラのなかか…
こいつぁやっかいですぜ

胃痛の原因は剣ミズ…？
ヒホホ…
…
チクチクどころじゃねェだろ…
ひょい
え？
よし
たまにはタンタン活躍してよ
ヴッ
わっ
バグッ
ギャアア〜!!

!
まずいミズ！
ペッ
勇者の剣とってきた？
ギャー
とってこれるワケねェだろ〜〜〜!!
な〜んだガッカリ
……
だったら自分でとってこいよ
わかったよ…

スラ・ストライク!!
ドゴッ!!
ギャ〜〜!!
ズル
痛いミス!
なにするミス!!
いや〜
なんとなく
こうしたら
出るかな
って…
どういう
理屈だよ?
こうなったら
最後の手段
……
手術です
ジャーン

免許も麻酔もないけど
キラーン
ひぃ〜
そ…そんなおそろしいコトやめて〜〜〜!!
W.C.
がんばって出すミズ!
使用中
バタン
タンタン持ってね
ホカホカ
なんでオラっぴが!?

第23もり

洞窟をぬけると
そこは…
雪国でした
ブルブル
ブル
ビュウウウウウ
さみい〜〜〜！
前回は砂漠でこんどは雪山かよ…
なんでこんなバリエーション富んでんだよ
どんな島だよスラバッカ…！
こんな島だよ
ブツ
ブツ
ブツ

ミルモーム山
ビュウウウウ
このどこかに最後の伝説の資材が……
とりあえず山びこの笛吹くか……
ポ〜
やめろモコ〜〜〜っ!!
ぐはっ

なにしやが……!!
シッ……!
ぐおー
ぐおー
……
ふう……
ホッ
どうやらシルデビ様を起こさずにすんだモコ
オラっぴはなにもしてねェぞ
なんなんだ? いったい……

あ／
申しおくれた
モコ
オラは
モコモック族の
モコみち
シルデビ様は
モコモック族の
守り神モコ
で？
なぜ
オラっぴは
なぐられ
たんだい？
シルデビ様は
ねてるとこ
起こされると
とても不機嫌モコ
そんなコト
かよ〜〜〜!!
シィ〜〜〜!!
モゴ
ホッ

シルデビ様の不機嫌は恐ろしいモコ
ひそ
ひそ
大昔あまりの機嫌の悪さに3秒で全世界を崩壊させたという言い伝えがあるモコ
ひそ
ギャハハハハ
3秒!?
全世界!?
ありえね〜〜〜!
声がでかいモコ〜〜〜!!
ためしに起こしてみよっか
ガガガ
やめろモコ〜〜!!!
ゴゴゴゴ
!!

ぎょええええええ〜〜〜!!!
ドドドドドド
ボー!
ポリ
ポリ
ホアーアー
もう！静かにしてくれモコ!!
おまえがいちばんさわいでる気もするぞ
まぁ…そんなわけなので…
演奏会はよそでやってほしいモコ

そちらさんの事情は わかりやしたが…
あっしらも大事な探し物してるんでさ
静かに探してくれるならかまわんモコ
いや…
そいつを探すために
やまびこの笛を吹く必要があるんでさ
笛吹くならよそ行ってほしいモコ
いや…探し物がこの辺に…
なら静かに探すモコ
いや…それ見つけるのに笛を…
笛ならよそで吹くモコ
会話がループしてるぞ！
それにしてもよわったな〜
う〜む
どうする？
笛吹けねんじゃ探しようがねェですぜ

とりあえず
モコみちを
やっつけようか
どひゃ
ええ〜〜っ!?
うん
それしか
ないね
このままじゃ
ラチが
あかねェ
ですしね…
そ…そんな
オラは
非戦闘員
モコよ
あわわ
それを
やっつける
だなんて
ひどいモコ
スラ・スト
ライク!!
ギュ
ぎょええ
ええ〜〜〜
〜〜〜!!

ゴロン
雪玉になっちった
ズゴ
さっきからうるせぇぞモコみち
ゴゴ
ワシの眠りをさまたげるんじゃねエ！
ゴゴ
ギグッ
お…おゆるしを〜〜〜!!!
ひぇぇ
おしおきじゃ
ベギラマ!!
ゴオオオオオ
ぎゃああ!!

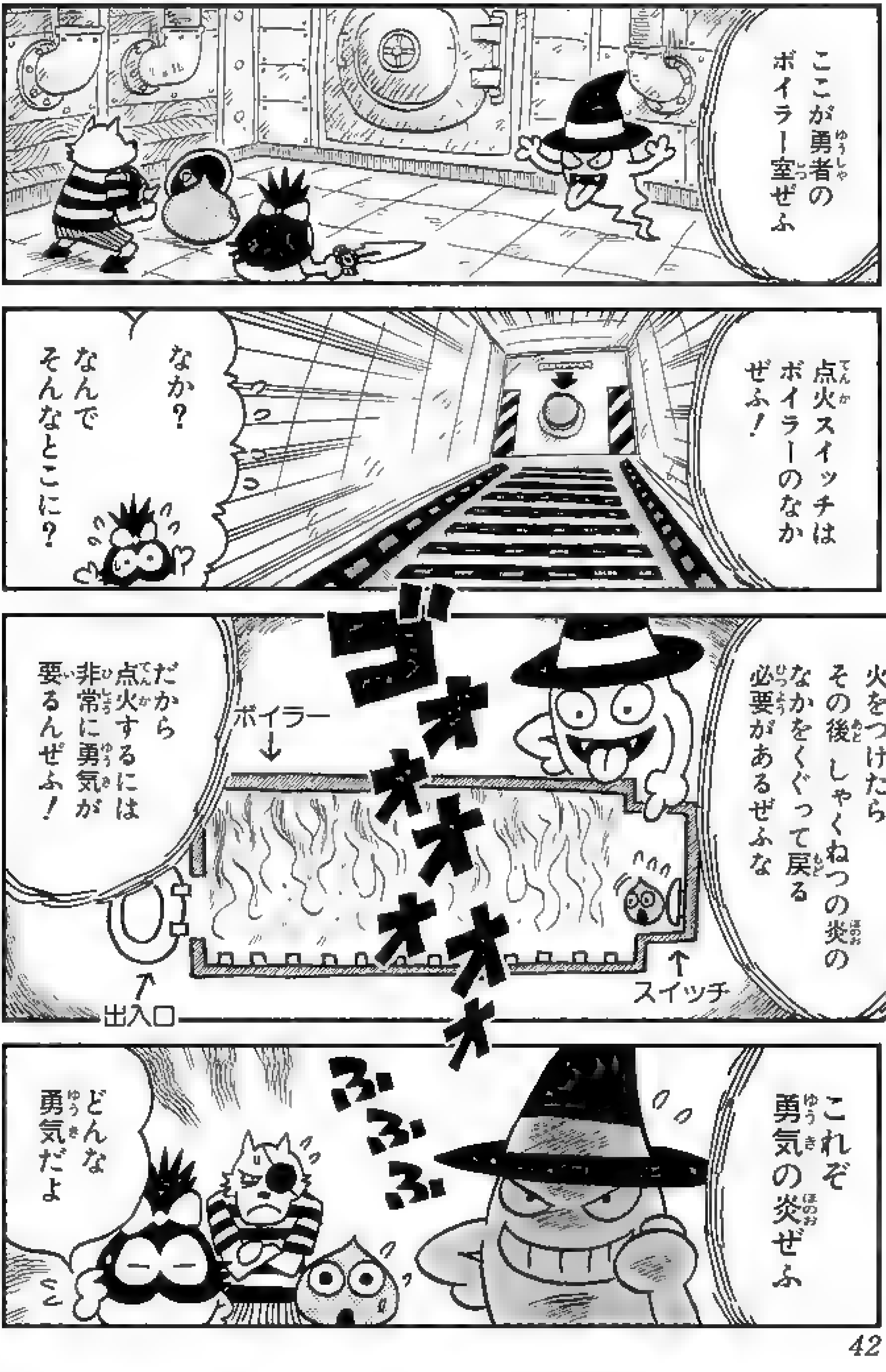
シュー
シュー
パタ!
・・・
あ!
ベギラマの熱で雪がとけて・・・
雪の中から
キラーン
あんなモノが
これぞまさしく最後の伝説の資材
勇者の盾!!
やった〜〜〜!
これでやっと勇車を動かせやすぜ!
ところでとっくに3秒すぎてるけど
世界は?
それほど機嫌わるくなかったみたいモコ
やっぱ言い伝えがウソなんだろ
3秒で全世界なんて大魔王でもムリだよ

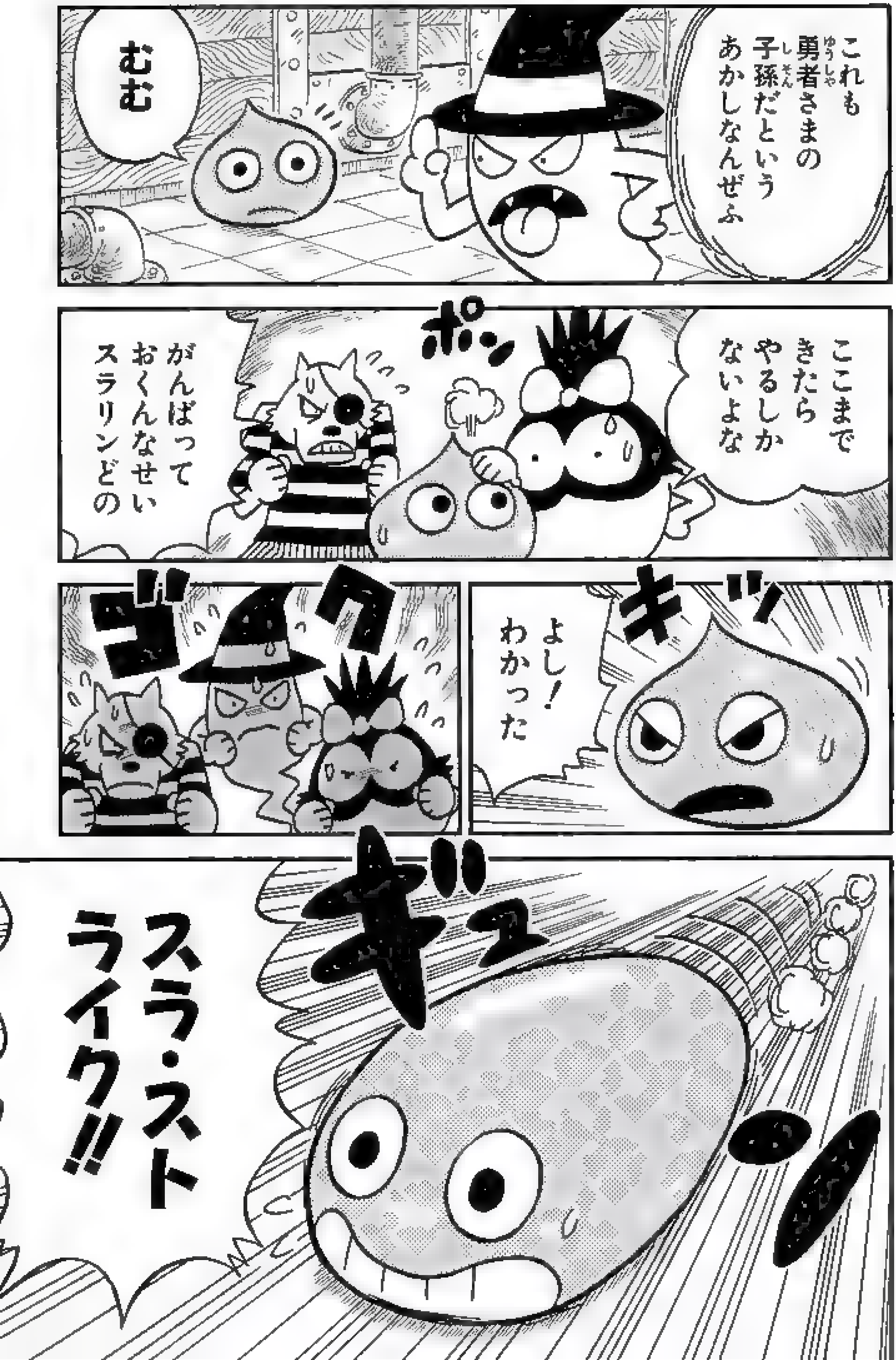
第24もり

ヨーゼフ〜〜〜!
オーイ
どこだ〜〜〜!?
すやすや
寝てやすぜ!
ズコ
起きろ〜〜〜!!!
ビクッ
あれ?
ポ〜
幽子りんと霊子たんはどこぜふ?
キョロ
キョロ
だれそれ?
さっさと目を覚ませ

…お！
伝説の資材集まったんぜふね
うん
はやく勇車を動かしたいんだけど…
では勇車のしくみを説明するぜふ
ドーム
蒸気をためておくところ
排気筒
安全べん
蒸気を調節する
タンク
水が入っている
ボイラー
ピストン
まずボイラーで水を沸騰させ
その蒸気の圧力で動力を得るんぜふ
大砲の弾も蒸気の力で発射するんぜふよ
勇車構造図解
ん？
するってえとなにやら燃料が要るんでねェですかい？
石炭とか？

それを集めてきてもらったぜふ
え!?
伝説の資材を勇気の炎で燃やすと…
石炭の数百万倍のパワーが得られるんぜふ
伝説の資材燃やすの!?
どどっ
心配いらんぜふ
勇気の炎で燃えた資材はいったんは炭になるんぜふが
百年もすればもとに戻るんぜふ！
でも百年てけっこうあるよね…
マジかよ


ここが勇者のボイラー室ぜふ
点火スイッチはボイラーのなかぜふ!
なか? なんでそんなとこに?
火をつけたらその後しゃくねつの炎のなかをくぐって戻る必要があるぜふな
ゴオオオオオ
ボイラー
スイッチ
出入口
だから点火するには非常に勇気が要るんぜふ!
ふふふ
これぞ勇気の炎ぜふ
どんな勇気だよ


これも勇者さまの子孫だというあかしなんぜふ
むむ
ここまできたらやるしかないよな
ポン
がんばっておくんなせいスラリンどの
キッ
よし！わかった
ゴク
ギュ
スラ・ストライク!!

え!?
ボッ
点火成功!!
あちちちちちち!!

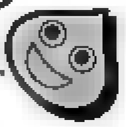
こんなのアリかよ!!
勇者のあかしとしてまちがってんだろ!!
ちゃんと火ついたからいいんぜふ…
ゴオ
つづいて資材投入ぜふ!!
グオン
お!
グオン
きた!
オオー!
いよいよ勇車始動ぜふ
トホホ
それにしても苦労して集めた資材をあっさり燃やしてくれるよ

オーライ
オーライ
ぜふ
ドドドドドドドドドド
ゴゴゴゴゴゴ
ザバア

ザザザザザザ
勇車発進
ドドドドド
みてろよ！ドン・モジャール
勇車の大砲をお見合いしてやるぜ！
おみまいだろ
ドド

キャラもり
7

ヨーゼフ



種族：ゴースト
特技：説明

勇者の祠の門番。勇者と、その復活の為の秘密を守っていた。スラリンを勇者の子孫だと思い込んでいる!?

第8章

スラリンと未知なる必殺技

第25もり

ドドド
ドド
町へいそげ!!
ドド
ほらもっと
スピード
スピード
ゴロゴロ
ドッ
ドッ
おとなしくしろ~
おまえが転がったって加速しないよ!!

ドドーン
スーランビーチ
ザザザ…
すまんスラリン…
くっ…
おまえが戻るまではもちこたえられなかった…
苦労して築いた砦も…こうもあっさりやぶられようとは…!!
オオ神よ…
骨おり損やったなあ
それ言うたらアカン

ギャハハ
思い知ったか
スライムども!!
このワシを
あまく見ると
こうなる
もじゃああ!!
おのれ
しっぽ団め
……
ぐぐ…
せっかく
なおりかけた
町を……

おとなしく降伏しろもじゃあ
命だけはたすけてやるもじゃ
ふふ
ふふ
ふふ
うぬぬ

スラリンはどうじゃ?
まだもどる気配ないっス!
ガク…
そうか……!
もはやこれまでか…
ふう
サドロ
おてあげやね
ウドロ
さあ!
くわ
どうするもじゃや
ヒュルルルルル

グワアアン
!?
な…
ぐお
なにごともじゃあああ!?
ヒュウウウウウウ
な…なんだあのシルエットは…!?
おお!?
もしや……!?

勇車見参!!
またせたなみんな!!
ウオオオオー!!
スラリンだー!!
ワーワー
やった~!
ワーワー
まってました~
ワーワー
あれが勇車か~
な…なんじゃあのマシンは……!?
ひぃぃ!!
きいてないもじゃあああ

ついに…
伝説の勇車復活じゃな
オオオ
これでしっぽ団に勝てるぞい…
いや！
ムリやな…
キッ
なんじゃと？
どういうことやねんサドロ
ええか！
むこうのモモンジャ型に対してこっちはスライム型や！
つまりやな…
つまり…？
ゴクリ
スライム型だけに手も足も出えへんねん
スパーン
アホか
ズコ

おい！ドン・モジャール
オイラも強力な武器を用意したぞ
ジャキン
こんどはやっつけてやる
おのれ…まだワシにさからう気もじゃかあ
うぬぬぬ
こらしめてやれもじゃあ
キッ
おまかせを
おい！スラリン!!
ゴゴ
そんなオンボロメカでオレさまに勝てると思ってんのか!?
こ…この声は……？
ザワ
ミイホン!?
ザワ
どうしてしっぽ団に…？

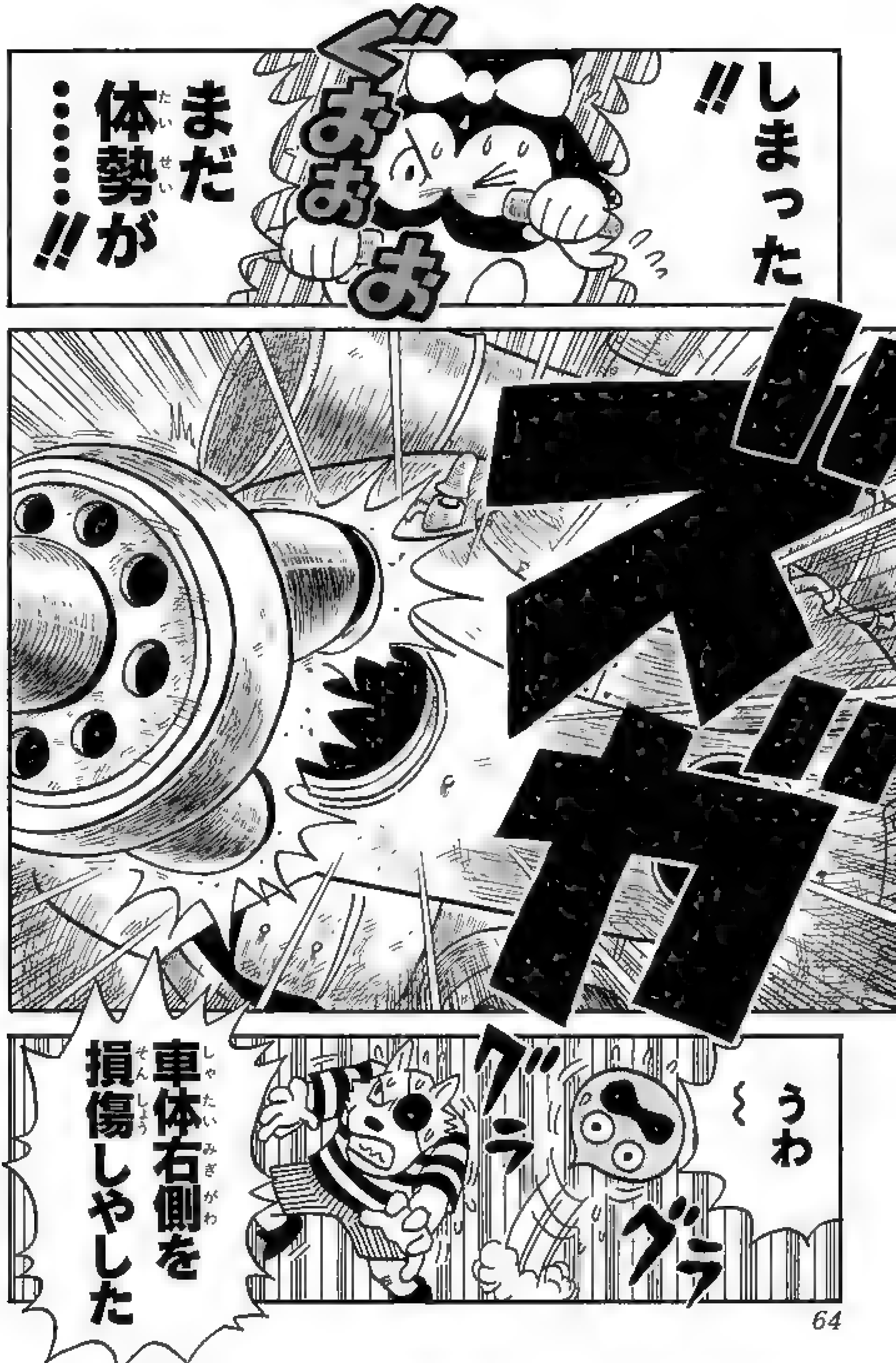
かくごしなスラリン!!
バッ
決着をつけてやるぜ
ぐぐ…
ミイホンめ…!
町をこんなにメチャメチャにしやがって…
イタズラにもほどがあるぞ!!
プンプン
ズル
ズル

第26もり
いくぜ!ミイホン
こい!スラリン
♪
ヒラリ
ド
おっと
グワーン
どひゃ

ガーン
よけた!?
ニヤリ
不意打ちでなきゃくらうかよ!そんなもん!!
ああ…町が～
メラ メラ メラ メラ
自殺点やんか…
なにしとんねん!スラリン
なんてことするんだ!?ミイホン
プン プン
ビシッ
おまえが撃ったんだろ!!
反撃もじゃああ!!
くわっ
モジャンガーWの恐ろしさを見せつけてやれもじゃあああ
ハッ!
ビシ

鉄球発射!!
なんか撃ってきたぞ
!?
よけろ!タンタン
グググ…
くう〜
ズン
グラ
わっ
ズン

そこだ!!
ぐわ
くらえ!!
ロケットアンカー!!!


しまった!!
ぐおおお
まだ体勢が……!!
車体右側を損傷しやした
うわ〜
グラ
グラ

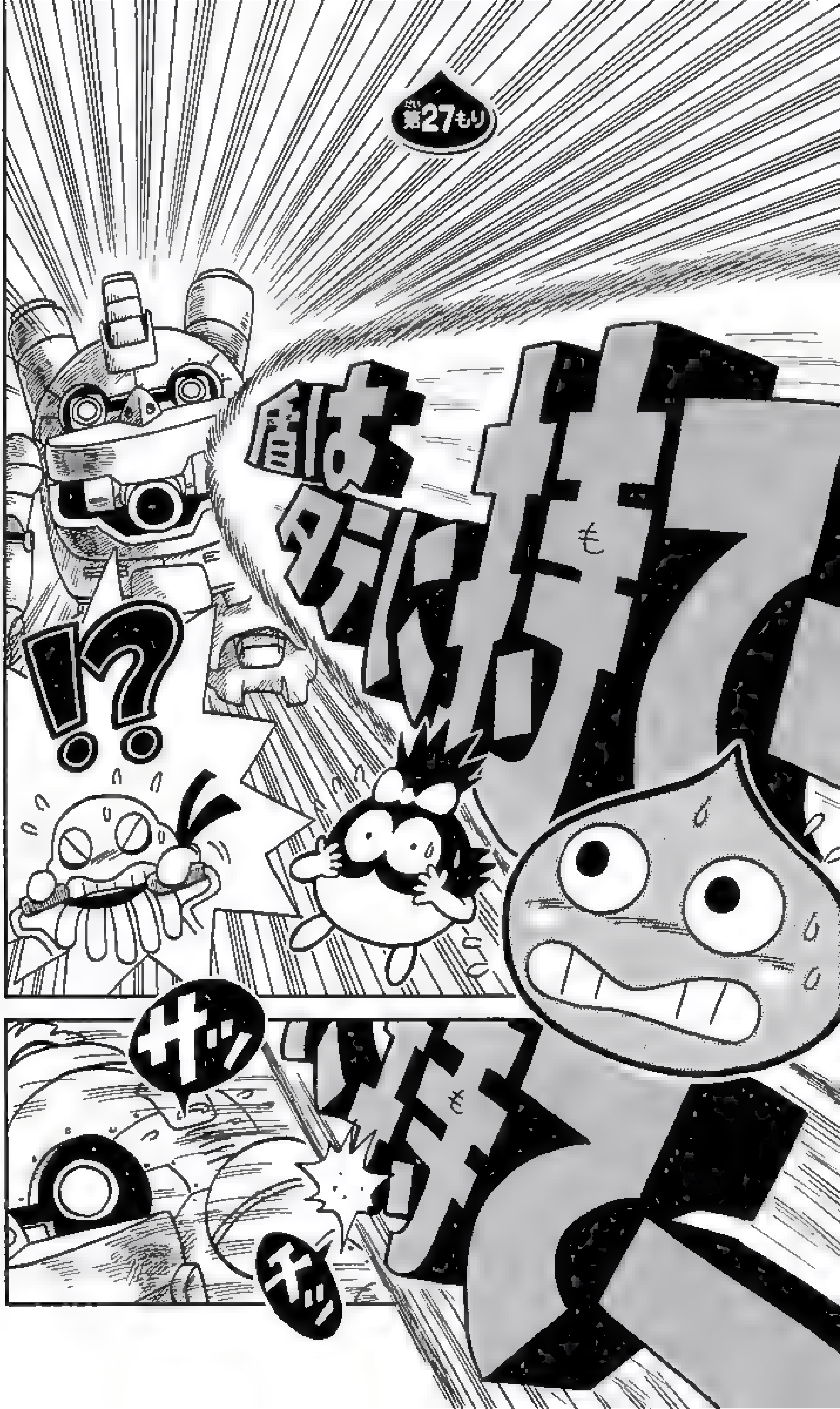
さっそうと登場したわりには…
ギャハハ
わがしっぽ団のハイテク兵器の前では
赤子も同然もじゃなああ
ぬう…
いかに伝説の勇者といえど……
ぐぐぐぐ
テクノロジーの進歩には勝てぬのか……!!
ズル…
…
ズル…
ズル…
早くクサリを巻きとれもじゃあ
ぐるぐる
せいいっぱい巻いてるんテス
ひぃー
いうほどハイテクでもないやん

勇車をなめるなよ
ギッ
まだとっておきの技があるんだ
ほう
あ…あるよね？
アセアセ
え…？オラっぴ知らないよ
なにをごちゃごちゃと…
勇車の弾薬庫
こっちにも特殊砲弾とかねェもんかと…
ガサ
ガサ
ガサ
探してるんでやすが…
ちと…らしいモンはねェですぜ！
がくぅ〜〜

くそ〜〜
んぐぐぐ
なにか打つ手はないのか……!?
あるんぜふ
わっ
びっくりした!
ヨーゼフ!
ズイ
勇車にはすごい必殺技があるんぜふ
オオオ
まじか!?
それは……!?
その名もダジャレE砲台!!
うわ〜〜
…
とほほ
弱そうな名まえ…

なにを言うんぜふ
ゴゴゴゴ
ダジャレE砲台はあの魔王をも唸らせたほどの究極の技なんぜふよ!!
そんなすごい技なら先に教えとけよ!
まったく
それが…
一発しか撃てないもんぜふから…
一発か…
んー
言いほうだいじゃないのかよ
どっちにしろほかに手はなさそうだ!
むぉ
ダジャレE砲台スタンバイ!!
ダジャレE砲台スタンバイぜふ!!
ガガガ…!
ガコン

ムッ!!
!!
別の大砲ととりかえた……!?
発射～～!!
盾はタテに持て
うわ～!!
なんだコレ～～～!?
どひゃあ
ほんとに効くのか～～～!!?


第27もり
盾はタテに持
!?
サッ
チッ

ひ〜いいいいい
かわされた〜〜〜!!
ああああ〜
ゴパァ!
!?
え!?
おお…!?

ぎょえええー!?
バックリ
オオオオー!!
すげえ〜〜!!
やった〜〜!!
さすが勇車だ
ぐぐぐ……
なんとか紙一重でかわしたが…
かすっただけでこの威力とは…

こ…こんな恐ろしい武器を持ってたなんて……
ひいいいい
も…もうおしまいもじゃあああ
ダジャレエネルギーじゃ!!
くわ
ダジャレエネルギー？
なんやねんそれ
歴代の勇者さまが使った武器や防具にはダジャレEが宿るという……
初代
二代目
三代目
なしてそんなもんが宿んねん
よっぽどダジャレ好きの家系なんやなあ
そのダジャレEをいっきに放出する技があったと聞くが…いまのがまさしくそれにちがいない！
ふふん
いっきに放出したんが〝盾はタテに持てー〟かいなー
勇者ってダジャレベル低いんやなあ
わてならもうちょいうまいコト言えるで
ビシ
自分のダジャレかて同レベルやろ

本当にすごい技だったんだ
うひょ
ダジャレE砲台
でも もう一発も撃てないんだぜ…
あ…
ギギギギ
ぜったいによけられちゃダメだったんぜふ！
…事態はあまり 好転してないぜふ！
…まてよ
一発しか撃てないなんて相手は知らないんだし
ハッタリかませばいいじゃん
ポン
おお！
もう使えないなんてだまってりゃいいんぜふな
ワハハハハ
そうそう
もう使えないなんて言わなきゃいいんだよ
ワハハ
ぜんぶ聞こえてるって…

あのスゴイ技はもう使えないもじゃああ
ドドドドドドド
反撃もじゃやああ!!
ガーーン
えええ〜〜〜!?
なんでバレたんだ〜〜〜!?
ギュルルルル
くらえ!!
ドリルクロー!!

ガガガ
うわ!!
キャタピラがやられたぜふ!!
くそ〜!! よけきれなかった!!
ほかに武器はないの!?
ええと…
!
これぜふ!
ぐっ

なみだのマシンガン!!
ババババ
ボッ
目(カメラ)がやられた
おかえしだ!!
ドドドド
ハナクソバルカン!!
ドドドド
ドドドド
うわああ〜
なんか屈辱(くつじょく)〜〜

だめおしだ!!
ギュイイイ!
トサカソー!!
ああああ～!!
ガガガガガ
勇者の出力30パーセントまでダウンぜふ…
ガク
ぎええ～～!!

さあ！どうしたあああ
ギャハハハハ
降参もじゃかああ!?
こうなったら…
むっ
直接敵のマシンにのりこむしかない!!
いくぜ!!
せや！
剣なら負けんで〜!!
…てのはどや？
同じやろ

キャラもり

8

船長

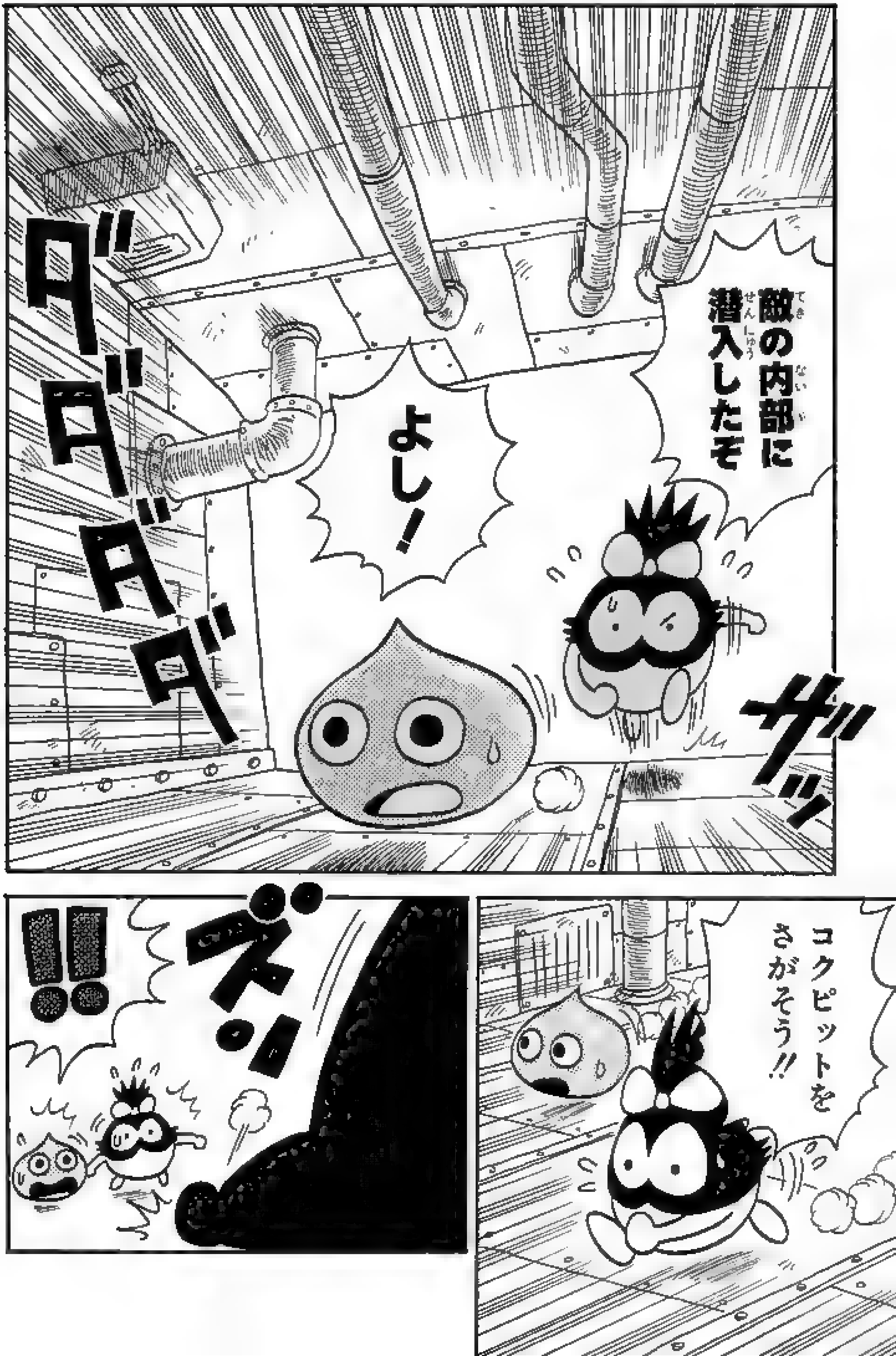
種族：鉄球魔人
特技：航海

財宝を狙う海賊船の船長。でも、スラリン達をスラバッカ島まで船に乗せてくれたり、町を一緒に守ってくれたりと意外に優しい人!?

第9章

スラリンと驚怖の催眠術

第28もり



バーーーン
ここを通すわけにはいかんテス!!
ガーン
ギ…ギ…ギガお!?
ぬぐぐ…
じゃまするな!!
スラ・ストライク!!
ギュン!
え!?

ボヨ!
うわ
オラにはどんな攻撃も効かんってコトを…
忘れたんテスか？
あ〜〜〜!!
そうでした…
ザー
忘れるな〜〜〜!!
グフフ
うう……
どどど…どうしよう……

オラのメガトンパンチをくらうんデス!!
うわああ!!
ひいいい〜〜!!
ドゴ

!!
MJ!!
ここはあっしにまかせておくんなせい
でもギガおにはどんな攻撃も効かないんだよ
MJ勝てるの?
いえ…

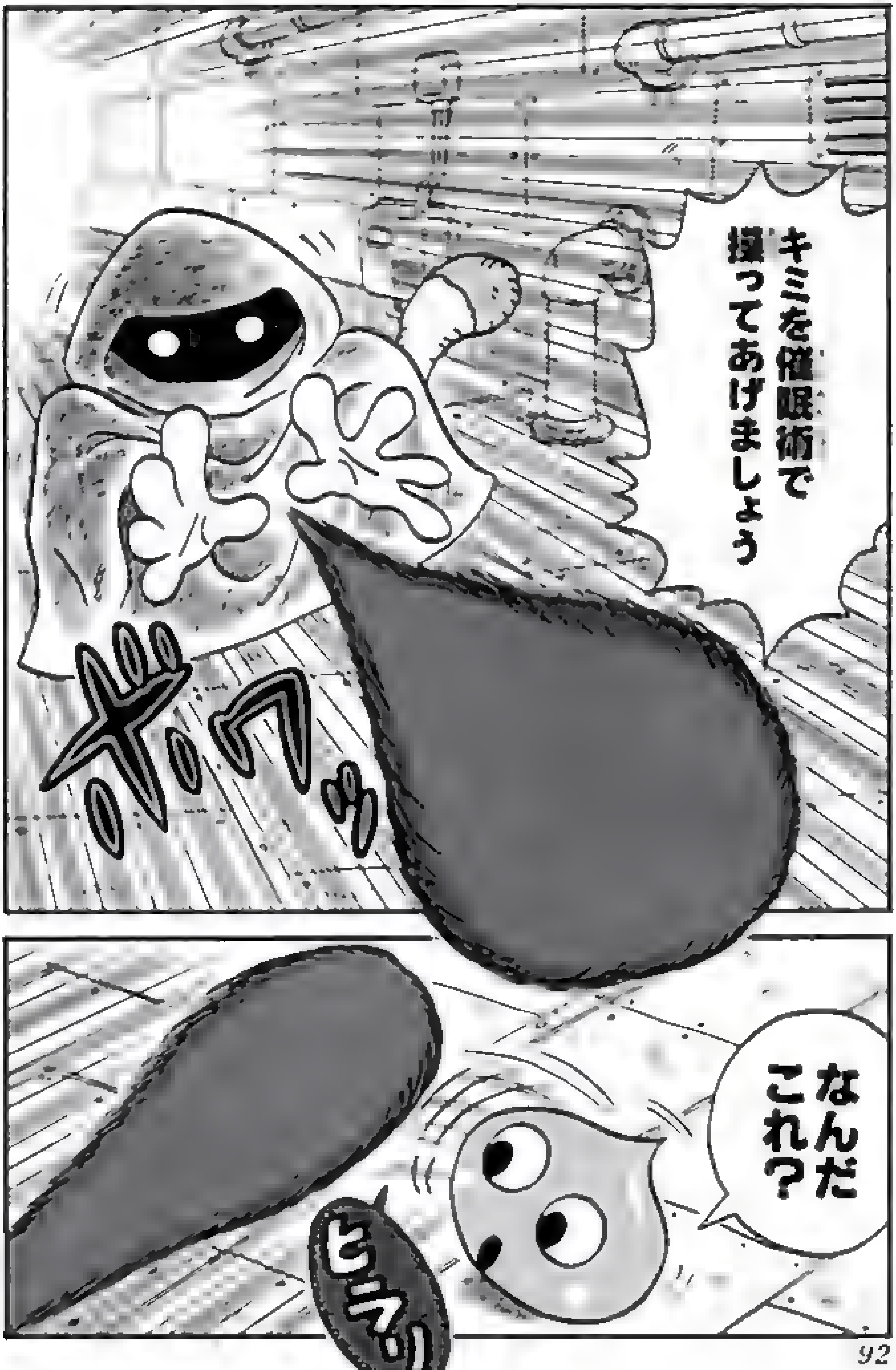
勝てるとは思えねェんですが…
ぐっ
負ける気もしねェんでさ
あっしは受けには自信がありやすんで
ムッ
カチンときたんテス
オラは無敵なんテス

サッ
!?
いたいんテス
いたいんテス
ギャーギャーギャー
え!?
なんで効いてるの!?
あっしはただパンチをいなしただけですぜ
そっか
攻撃じゃなくて防御だから
そんなトンチみたいのでいいんだ…?

ぬぐぐ〜
ギギギ
ギギ
屈辱なんテス…！
さあ
スラリンどのは
先に進んで
おくんなせい
おお
まかせたぞ
MJ！
あああ…
バッ
タッ
タッタッ
立場逆転で
やんすな！
ゴゴ
あっしを
倒さねェと
スラリンどのを
追えやせんぜ
ゴゴ

ダダダダ
!!
バッ
ここは通しませんよ・・・
またなんか出てきた
ゲッ
あいつは・・・!!
しっぽ団四天王のひとり・・・
ナゾの催眠術師
サイミン?

以前オラっぴは催眠術で操られて…
気がついたらしっぽ団に入れられてたんだ…
スラリンくん…
モモ
モモモ
モモモ
キミもミイホンのように操ってあげましょう
そうか!!
ミイホンのだんなもコイツに操られてしっぽ団に…
ガーン
なんだと!?
契約金はいくらさ?
ズコ
スカウトマンとかではないのですが


キミを催眠術で操ってあげましょう
なんだこれ？
ヒュー

それに当たっちゃダメだぞ
ぐお
スラリン!!
ん?
ピタ
なんか言った?
あ〜〜〜!!
よそ見するな
あちゃあ……
ボク
ポワ〜ン
フフフ
命中しましたね

モワワワ〜ン
ん〜？
さあ リラックスして 私のことばに 耳をかたむけて ください
キョロ キョロ
だれ？
あなたはいま 常夏の島に います…
目の前には 大きな ヤシの木が…
ももももももももも
ほんとだ！
ヤシの実ジュースでも飲むか！
ポワワン
ギュン！
スラ・ストライク!!

ドン
ギャッ
ん？
パチ
ヤシの木なんかないじゃん
目がさめたか
バカな…
私の術がやぶられるなんて…
あれ？
ヒョイ
マントぬげちゃったんだ
!?

ジャーン!!
ギャア〜〜!!
うわああ〜〜!!なんだアイツは〜〜!?
どひゃ
あれが催眠術師の正体か〜!?
見てしまいましたね…
ゴゴゴゴゴゴゴ
カオを見られたからにはタダではすましませんよ…

ぐお
とっておきの技を見せてあげましょう!!
うわあ~!!
ぞぞぞぞ
な…な…なんだあ~~~!!?
テンツク
テン
テン
テン
ツク
テン
テンテン
ツク
テン
ツク
テン
テン
…?
なにやってんの…?

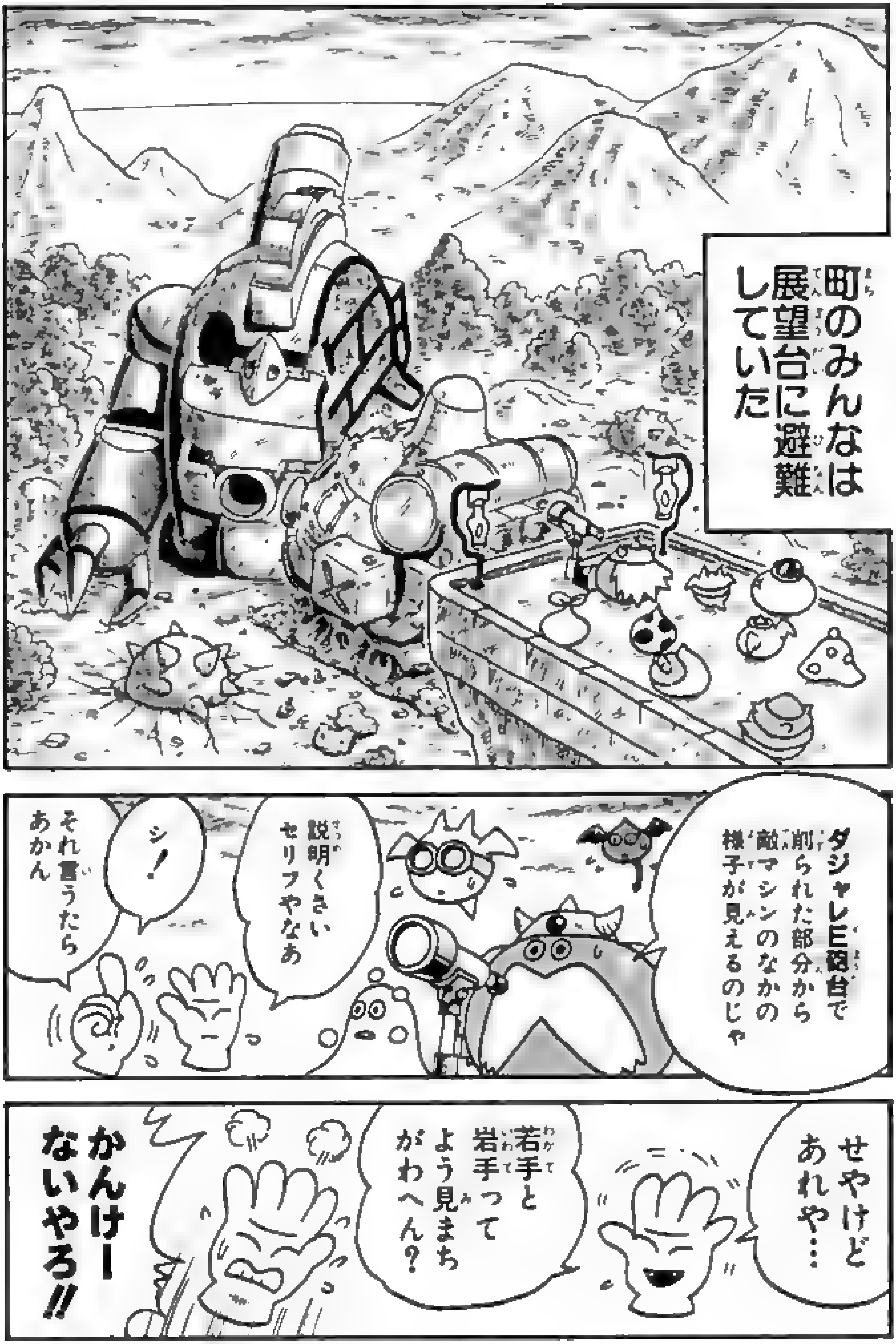
わっ
ヘーイ
ビクッ
ヘイ ヘイ ヘイ
…
ふふふ…どうですか
ついついつられて踊ってしまうという
これぞさそう踊りです!
別につられないけど
んが!?
…!!
私の技がことごとく効かないとは
……!
さすがに他の四天王を独りで倒したというだけはある
このスライムタダ者ではありませんね

ならばこれでどうでしょう
!?
?
タンタンに当ててどうすんの
え?
ゴゴゴゴ

どーですかー!?
意のままに操りさらにその者のパワーを2倍に引き上げるという
ハイパー催眠術です
へ〜
ケロッ
そうなんだ〜
い!!?

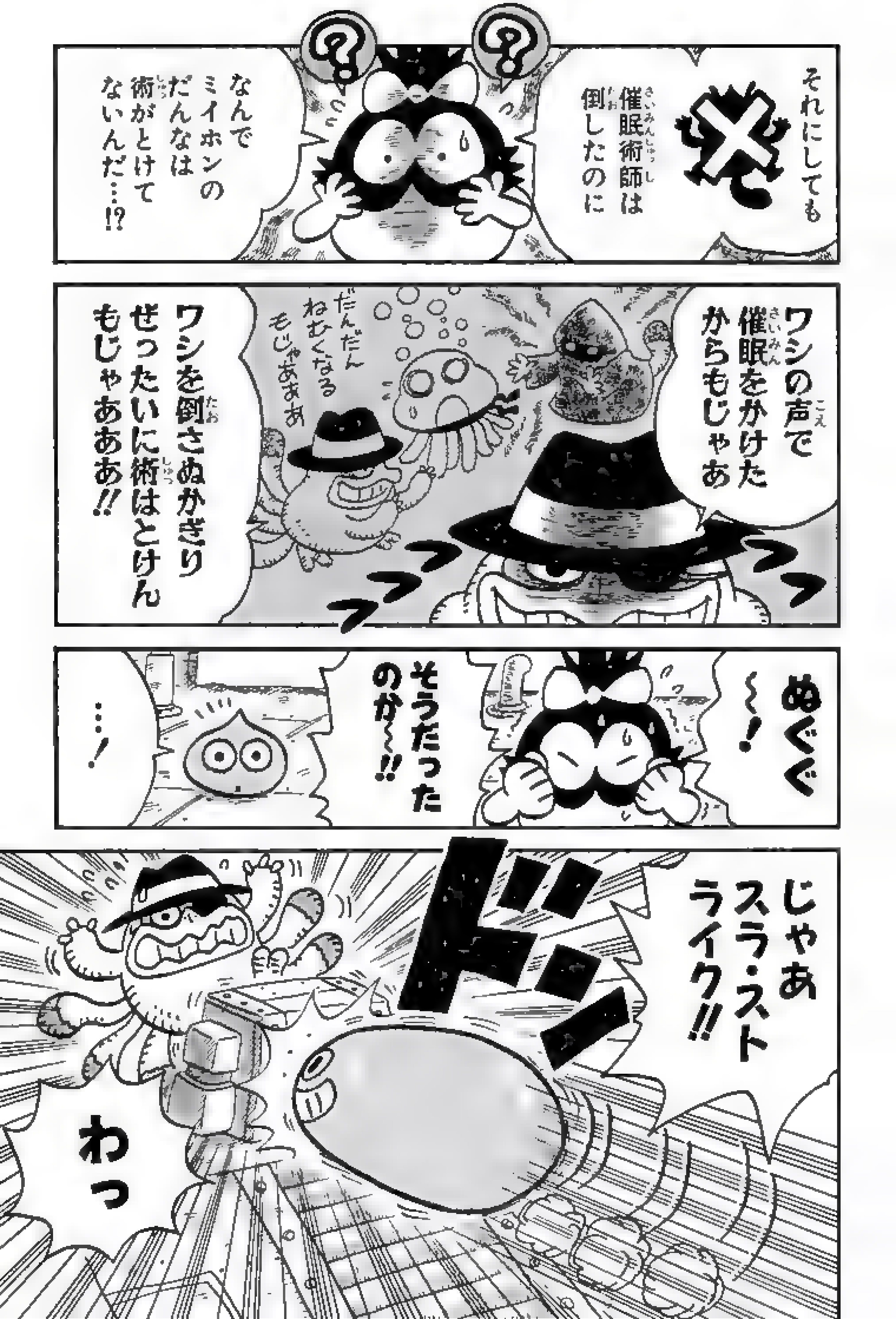
な・・・なぜ？
アワアワ
ピンピンしていられるのです・・・？
オラっぴは非力だから2倍でもたかが知れてるのさ!!
ふふん
いばって言うなよ
ガーン
そ・・・そんな私の催眠が・・・
あはは
さ！上の階いこか
あはあは
あはは

第30もり


町のみんなは展望台に避難していた
ダジャレE砲台で削られた部分から敵マシンのなかの様子が見えるのじゃ
説明くさいセリフやなあ
シ!
それ言うたらあかん
せやけどあれや…
若手と岩手ってよう見まちがわへん?
かんけーないやろ!!

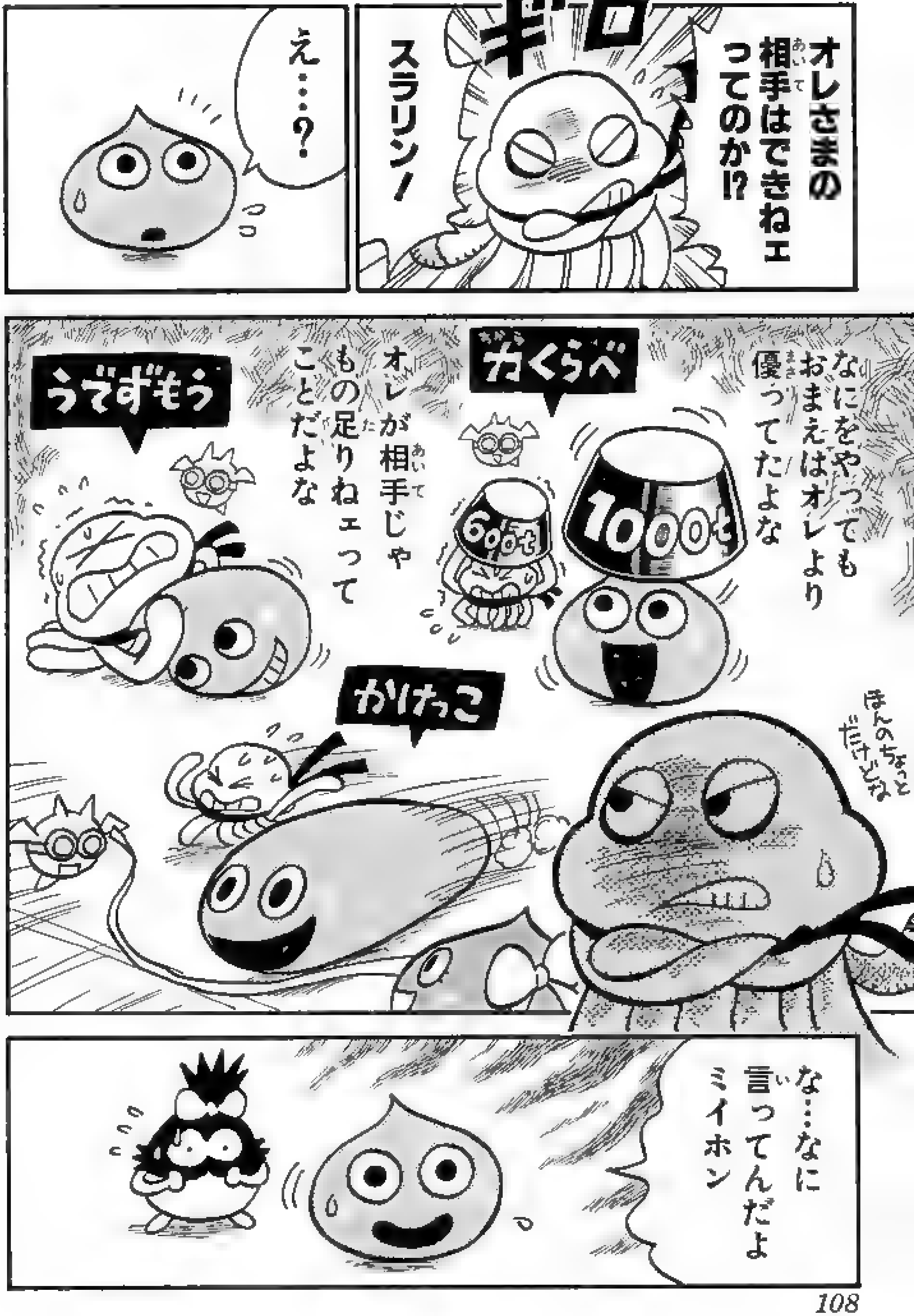
ドドドドドドド
コクピットはどこだ〜〜!!
COCKPIT
!
あそこか!!
ドドド
うらあ!!
ミ…ミイホンのたんな
ひぃぃ

ミイホンがスラリンをなぐっとる……
ギョギョ
ぎょええ!!
なんでぇ!?
あの声…やっぱりミイホンの声だったんだ
ザワザワ
ザワザワ
なんでしっぽ団に入ってんだ?
どうなってんだ!?
ミイホンくん……
……
ガバ
ミイホン!
サイミンとけたんだね!
ズル
とけてねエよ
ポコ


それにしても
催眠術師は倒したのに
なんでミイホンのだんなは術がとけてないんだ…!?
ワシの声で催眠をかけたからもじゃあ
だんだんねむくなるもじゃあああ
ワシを倒さぬかぎりぜったいに術はとけんもじゃあああ!!
ぬぐぐ〜〜!
そうだったのか〜!!
…!
じゃあスラ・ストライク!!
わっ

つまり
おまえを倒せば
ミイホンが元に
もどるってことだろ
キラーン
あぐ・・・
いくぞ
ぐわ
おまえの
相手は・・・
ガシ
!
オレさま
だ!!
ぐいん
ド
し

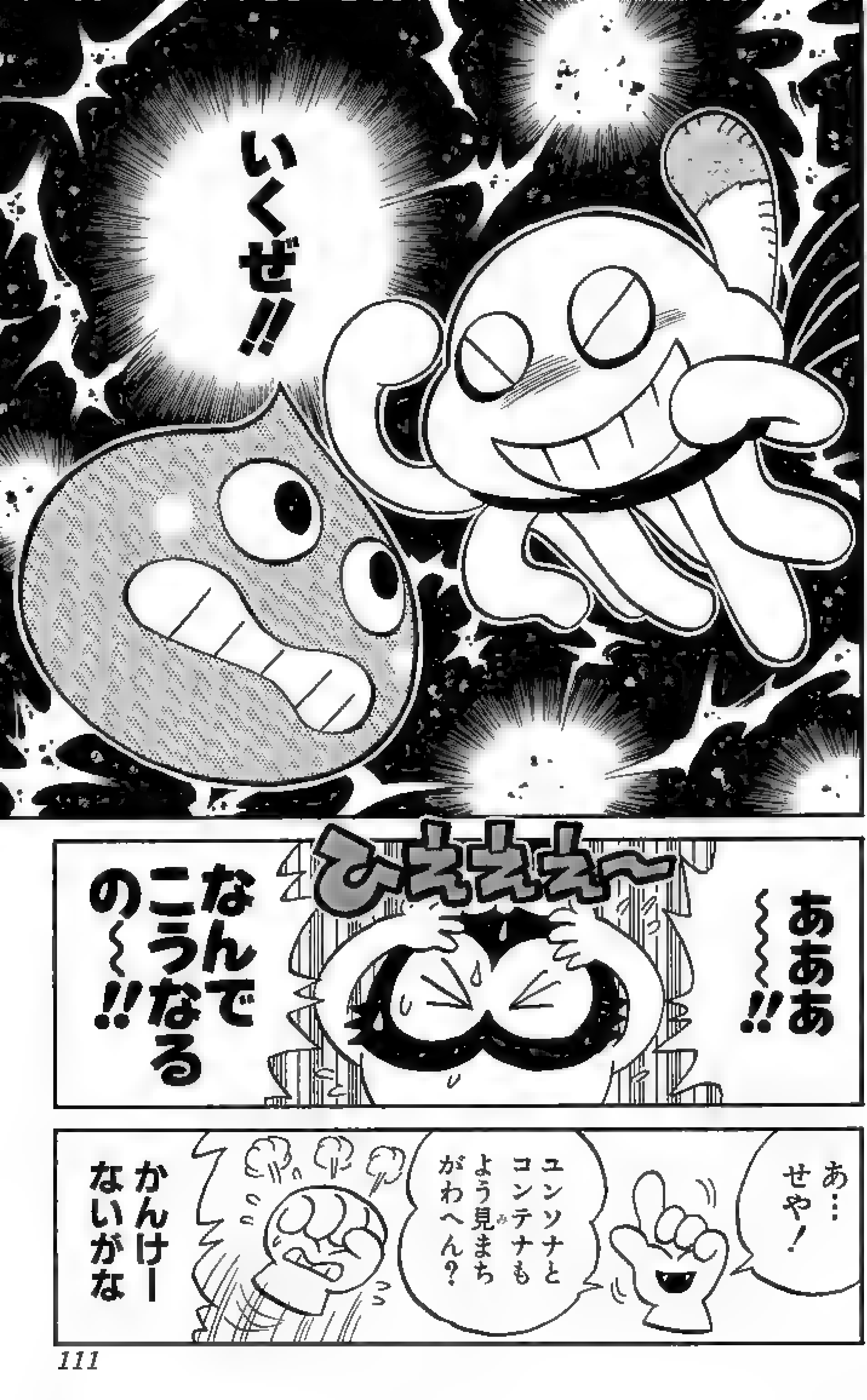
よ…よせよミイホン
あいたた
オイラたちが戦う必要はないんだ…
じゃ!
バイ!!
非常口
あとはまかせたもじゃあ
あ〜〜〜!!逃げるな!
バッ
う…
ゴゴゴゴ
タンタン!
オイラドンモジャール追うからさ
ちょっとミイホンを食い止めといてよ
ムリだよォ!!



オレさまの相手はできねェってのか!?
ギロ
スラリン！
え…？
なにをやってもおまえはオレより優ってたよな
力くらべ
オレが相手じゃもの足りねェってことだよな
うでずもう
かけっこ
ほんのちょっとだけどな
な…なに言ってんだよミイホン

それでもオレはおまえをライバルだと思ってた！
ぐ…
なのにおまえは
ぐぉ
オレさまのことは眼中にねエって言うのか!!
……!
ゴゴゴ
勝負しろよスラリン
ゴゴゴ
……
よし…
キッ
そこまで言うなら相手になってやる！
ええー!?

なに言ってんのスラリン
ドン・モジャールを倒せばだんなと戦う必要ないって言ってたじゃん
ドン・モジャールはタンタンが倒せ
わ〜
ムリだよおおお〜!!
ゴオオオ
オイラがミイホンの目を覚まさせてやる!
男と男の勝負だ
よく言った!!スラリン
そうこなくちゃだぜ!!


いくぜ!!
あああ〜〜〜!!
ひえええ〜
なんでこうなるの〜〜!!
あ…せや!
ユンソナとコンテナもよう見まちがわへん?
かんけーないがな

キャラもり

9

MJ

種族：シードッグ
特技：受け流し

海賊船のみはり役。みはりのＪを略してＭＪ。遠くまで見通す目とどんな攻撃も受け流す防御テクニックを持つ。ギガおの天敵!?

第10章

スラリンとミイホン

うらあ!!
不用意に飛びあがってバカめ!!
くる
着地点をねらい打ちしてやる!!
スラリン!!
ああああ
ぐおおおお

ふわっ
!?
ホカ
よし!!
反撃(はんげき)だあ!!
ぐぐっ
スラ・ストライク!!
ギューーーン

ヒラリ
おっと
ベちゃ
スラ・ストライクは一度のびてから放つ技だからバレバレなんだよ
ふふん
そうだったのか〜
くそ〜
タンタン
よけられないようにミイホンを押さえてて
できないっつ〜の!!

よし
くいくい
よけねェで やるから もう一回 やってみろよ
え!? ほんと?
よけないで くれるの!?
ああ!
ぐっ
ミイホンパンチ と どっちが 強いか勝負だ
じゃあ せっかくだから
ぐいーーん
限界までためた 最大パワーの スラ・バズーカ にするね!
よし! こい!!
………… ちょっとまってね
時間かかるんだ…
ぐぐぐぐぐ
おお… おう!

ぐぐぐぐぐ
カァッ
!
ドゴオオオオン
スラ・バズーカ!!!
グオオオオ
おおお〜〜〜!!

ズド
うらあ
ぐはっ
アアアアア
スラリ～ン
ピク
ピク
ちょっと
痛かったかな

しっかりしろスラリン！
スラリン!!
ダダッ
……
……
ピク
ピク
ス…スラリンが……
ガーーン
やられちまった～!!
どど…どうしよう～～!!
アワワワワワ
ピク
ピク
ミイホンくん！
なんてことを…!!
パタタタタタタ
ドラお！

見てたかドラお!
オレさまはついにスラリンを越えたぜ
いままで一度も勝てなかったスラリンに勝ったんだぜ
うひょ
すげえだろ!
なに言ってんスか!!
ピク
ピク
!
いままでは勝てなかった……!?
もしや……!!
ド
ミイホンのたんな…
ハイパー催眠でパワーが2倍になってるんだ!!

なにィ!?
!?
なんだ!? そのハイパーてのは…!?
さ…催眠…
あれ…? 知らない…!?
オレさまがスラリンに勝てたのはそいつのおかげだってのか!?
ゴゴゴゴ
ゴゴ
あ…
いえ…
…その
ドゴ
うがあ!!
ひいっ
……
……
ぐぐぐぐ…
たしかにちょっと強すぎる気はしてたんだ…
くそ〜

2倍だと……!?
オレさまの実力はこの半分だってのか…!?
半分の力で戦ったら……
たぶんスラリンには勝てねエ!!
やっぱりオレはスラリンには勝てねエのか……
ガク…
……
……
うーん
ムク
ミイホン強くなったねエ…
きいたぜ
あ
スラリン!
……
アバラの2・3本も折れたんじゃないかなぁ
あいたた
ズル
ズル
アバラなんかねエだろ

第32もり

オイラもまだまだ負けないぜ
いくぞミイホン!!
とっと…
ヨロ
ヨロ
あれ?
フラフラじゃねエ〜か!!
…って
オレがやったんじゃねエ〜か!
ゴイン
すごい
オオオ
自分につっこんだ

スラリン……
この勝負はもう終わりなんだ……
オレさまの反則負けだ…
え？
反則…？
ホントだ！
ミラーシールド20枚も入れてる
ゲームじゃねエよ!!
ミイホンのだんなは…
ハイパー催眠でパワーが2倍になってたんだよ！
しょぼ～ん
……
なんだ！そんなことか
ズ…
あら…
そんなことかじゃねエだろ!!
ゴオオ
2倍だぜ
2倍!!

そもそも2倍の意味分かってるか?
パワーが2倍ってことはふたり分てことなんだよ
ふむふむ
ミイホンのだんなのパワーが80だとする…
100
80
そのままだとスラリンが強いけど…
100
160
ふたり分で160になればスラリンのパワーを上回るってわけさ!
へ〜
なるほどね〜〜
そういうことか…
おまえ…まだよく分かってないだろ…!
キョロ
キョロ
もうひとりのミイホンはどこ?
ズル
やっぱり分かってねェ

トコトコ
そろそろミイホンがスラリンを倒したころもじゃか…
非常口
どこ〜？
いねエっつ〜の！
んん…？
とにかくオレの負けなんだよ…
オレさまがスラリンに勝てるものはな〜んにもないんだよ！
そんなことないっス！
!!

たったひとつミイホンくんが勝てるものがあるっス!!
ホントか!?
そ…それは…!?
それはですね…
ゴク…
それは…?
背の高さっス!
がく～
唯一勝てるもんがそれかい!!
ミイホン足も長いしね～～
うらやまし～～
そうそう
長いうえに本数も多いしね～

——ってそんなの種族のちがいだろが!!
キリンがネズミに足の長さで勝ってよろこぶのかよ!!
いまのはオイラがネズミに似てるってたとえ?
チュー
チュー
ちがう!!
それだあ!!
ビシッ
だんながスラリンに勝てるもの…!!
なんだよそれって…?
いちお言ってみろ
それは…つっこみ!!
アホか〜〜!!

スラリンはボケキャラだろが!!
オイラボケてないよ
ひぃ〜!
ボケとつっこみに勝ち負けはねェんだよ!!
ええこと言うたな自分!
うむ
ボケとつっこみに勝ち負けはない
まったくそのとおりや
だれだおまえらは〜!?
うがー
わー!
非常口
ワーギャー
イラ
イラ
イラ
むぐぐ…
なにしてるもじゃあ
ガァ
さっさとそいつらをやっつけろもじゃあ

!?
ドン・モジャール
なぜここに…!?
逃げたんじゃねエのかよ!!
!?

ピカァ
う…
うわあ
なんだあ!?
まぶしい…!!
シュウウウ
……
……
オレは いったい 何を…!?

え…!?
あれっ?
もしかしてミイホンの催眠がとけた…?
なんで…!?
そうか!ドン・モジャールが気絶したから…!
でも まさか催眠かけた相手にやられるとはね…
…………何がどうなってんだ?
だれか説明してくれ…
え〜わが校の自慢は20階だての校舎でして…
最上階には展望台とプラネタリウム…
オッボン
ガーッ
学校説明じゃねエ〜よ!!
いつものミイホンだ〜!
やったー!!
もとにもどった〜!
つっこみは変わってないだろ…!

第33もり

やった〜!
ミイホンが元にもどった〜〜っ!!
う〜ん
はっ
・・・!
ぬぐぐぐ
ワーイ
ワーイ
ミイホンの催眠がとけたもじゃか・・・!?
ぐおお
だが それで勝ったと思うなもじゃ!!
こっちにはまだ切り札があるもじゃああ

イエーイ
ヒャッホー!
ドーン
――って聞いてないもじゃ!?
ちょっとまて
なんだ? このしっぽ…
ブチ
これ…!!
ギョッ!
しっぽ団の………!
そうか! オレ……しっぽ団に操られて…
ああ…なんてこった
スラリンや町をメチャメチャにしちまったんだ…
ミイホン…
まあ気にするなって!
よくあることじゃん
よくあるかよ!!

ドン・モジャールもやっつけたし
問題ない問題ない
…あれ？
ドン・モジャールがいない…
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
そ…そろそろ降参したらどうでい…
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
そ…それはこっちのセリフなんテス
ゴゴゴゴ…
ん!?
な…なんテス…!?

な…
ゴゴゴゴ
なんだ!?
!?
あれは〜〜〜!?
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
おにいちゃ〜ん
スラみ!!

ああ!!
スラリンの家族が…!!
くそ〜!!
だいぶ予定がくるったもじゃが
フフフフ
3匹だけでもいただいて帰るもじゃあああ
グオオオオオ
さらばもじゃあ
ドン・モジャールさま〜〜!!
ああああ
オ…オラを置いてかないでほしいんテス!!!
ぐ・おっ
逃がすか!
…れれれ?
ヨロ
ヨロ

フラフラじゃねエか！スラリン!!
ガン！
ミイホン……！
──って自分でやったんじゃねエか
ビシー！
──ってあれ？
いまのはつっこまなくてよかった…？
……
そう…
もとはと言えば全部オレのせいだ!!
キッ
オレがやる!!
オレを大砲で飛ばすんだ!!
ドーン！
え!!?

グオッ
ピ
ポ
パ
グオッ
グオッ
カチャ
まいど ありがとう ございます 魔界商会で ございます
あ! ヤシゲさん もじゃか?
グオッ
グオッ
スライムを 3匹捕獲した もじゃああ
ニヤ
ニヤ
1匹あたり 5千万ゴールドで 買い取ってくれる 約束もじゃなあ
その3匹のなかに 青のしずく型は ございますか?
5千万は 青のしずくだけで ございますが…
え!?

……
……
オ…
オレンジのしずくは…？
アセ
アセ
2ゴールドでございます
ズコ
あああああ!!
なんてこったもじゃあ！
青のしずくってスラリンのことじゃああ！
あいつだけつかまえればよかったもじゃかあ
でもあいつだけ結局つかまえられなかったもじゃ
大赤字もじゃああ
ズドー!!
ギュ―!!
ん？

ドゴ
わっ
うぎゃあああ〜〜!!
ザッ
おとといきやがれ!
ピュ——!!
おぼえてろもじゃあああ

ミイホン！
ミイホンくん！
おっしゃー!!
ワアアアアア
やったぜ！ミイホン!!
オオオオオオオ
スラリンの家族ぶじ救出じゃ〜〜〜!!
やったー！
わーい！
オ…オラおいてけぼりなんデス…
ガク
同情するぜ…

第34もり

これで全員たすかったぞ!!
ワーワーワーワーワーワーワー
やったー!!
でも町は悲惨だね…
ドョーン
また復興しなおしか…
ふう…
……
コンコン

あれ？
ミイホン
トイレ？
ギクッ
あんなでっかい
荷物で トイレな
わけねエだろ！
かわりに
つっこんで
みました!!
だんな！
よけいな
ことを…
ピシ
なんだ
？
どうした
？
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
どうか
したか？
ミイホン
ザッ

おなかいたいんだって
そう
これぜんぶトイレットペーパー
ビ
…なワケねエーだろ
町を出る気じゃな?
エーーーッ!?
なんで!?ミイホン!
………
操られてたとはいえオレが町を破壊したことにかわりはない
…もうこの町にはいられねェだろ
町を出たい理由は本当にそれか?
え?

ズン
スラリンに勝てないからではないのか？
ワシはすべて見ておったぞ
それは…
かけっこや力くらべで勝てなくてもよかろう
ミイホンはスラリンではないのじゃ
自分でも言ってたじゃろ
ボケとつっこみに勝ち負けはないと
根本的に違うものじゃから比べても無意味
ミイホンはミイホンの道を歩めば良いのじゃ
グランじいさん…

…だが もし
スラリンとは
関係なしに
ただ責任を
感じて…と
言うなら…
出ていくより
ひとりで復興作業
したらどうじゃ?
ワー
ワー
がんばれ
ミイホン!
いよっ!
男だね!
ひい～～!!
オニ～～～!!
オラも
元しっぽ団として
手伝うんテス
ギガお!

わてらも手ェかそか?
ワイ
元しっぽ団やしなぁ
ワイ
タンタンも元しっぽ団じゃん
ワイ
オラっぴは下っぱだからいいの!
…っておまえらは本当に見てるだけかぁ〜!?
それそれ!
ん?
ミイホンはそうでなきゃ
アタシらを助けてくれたんだし
出ていくとか言わないでよ
さあ 皆の衆! 町を復興するぞよ!!
オオー!!
みんな…
ジ〜〜ン!

教会
めんぼくねェ・・・
町を守れなかったうえに復興作業も手伝えねェで・・・
それなのにケガの治療だけしてもらっちまって・・・
ほんと申しわけねエ!!
なにをおっしゃいます
あなたがたはスラリンを島まで送りとどけてくれたではありませんか
スラリンがいなかったらいまの我々もありません

ですから
船長さんたちも
この町の救世主
なのです
うううう
し……
神父さん
けっきょく
ドン・モジャールって
なにしに来たの?
さあ…
オラもよく
知らんテス
もういいんじゃ
ない…?
終わったことだし
一か月後…
町はすっかり
元の姿を取り戻し
ドン・モジャールの
ことも すっかり
忘れ去られていた
おぼえとけ
もじゃああ
船長たち一行は
故郷へ向けての
出航の準備を
していた

もういっちゃうんだ…
ああ…
これ以上世話になるわけにはいかねェしな
MJも元気でね
ズッ
えむじぇい…?そんな名まえだっけ…?
アンタとは決着をつけたかったんテス
…勘弁しておくんなせぇ
防御戦はいがいに疲れるんでさぁ…
コリゴリですぜ
アハハハハハ

達者でな～！
バイバーイ
ザザザザザ…
いっちゃったね……
……
ザザー!!
……
よし！
家まで競争しようぜスラリン！
オッケー！
よーいどーん
ド
大砲を使うな～!!

キャラもり
10

ドラお

種族：ドラゴスライム
特技：推理

スラリンやミイホンの幼なじみ。まだ発揮されていない特技の推理は、次の章で存分に発揮される!?

第11章

スラリンと町の警備隊

第35もり

バーーン
町の平和はオレたちが守る
ぐ…
スーラン警備隊ここに結成!!
まあ平和なんだけどね
ぷら〜ん
ぷら〜ん
気をぬくな〜!!
くわっ
いつまた恐ろしい敵が現れるかもしれんのだ!!
さっそくパトロールに行くぞ!!
う…
ぐぐぐぐ
う〜ん
ハッ
どうした!?

も・・・
モジ モジ
もれそうだ・・・
ズル
トイレ行けよ
ハッ
う・・・
シク シク
うう・・・
バッ
どうした!?
む・・・
うう うう
むすめが・・・
う
ゴゴゴゴ
むすめが・・・!?
いっしょにフロに入ってくれないんです
シク シク
ズコ
ガーッ
知るか!!

ころんじゃったよ〜
えーんえーん
バンソコはれよ
メガネメガネ
あたた
ぶた
あるだろ
ドタバタ
ドタバタ
なんて平和な町なんだ…
う〜む
町が全滅するほどの大事件は
そうそう起こらないでしょ
平和だねェ
ぷら〜ん
ん？
ザワザワ
ガヤガヤ
なにやらあっちの方がさわがしいね
こんどはなんだぁ？
とりあえず行ってみっか
ふぅ
テンションひくいな〜〜
てくてく

バサ
バサ
ヒュウウウウ
ただならぬ気配なんテス…!!
ガク
ガク
な…なに者なんテス?
デクの棒に用はない
フン
バサ
バサ
カチーン
オ…オラをなめると痛い目にあうんテス
ぐ
お

ドーー
ザワ
ザワ
ザワ
ガガーン
ブッ
おそいな
ギョ
!?
はやい!!
コラ〜!!

また町を壊す気かギガお！
いや…でもクセ者なんテス
チラ
ん？
この町にスゴ腕のスライムがいるときいて来たのだが
……
バサバサ
オレさまになんか用か
ガハハハハ
サインでももらいに来たか！
きさまではなさそうだ
ムカ
なんだと!?
!?

おそいな
フッ
ヒラ
ヒラ
え?
あ!
いつのまに
オレのマフラー!!
オイラもできるよ
なに!?
ギューン
やっ
ハッ
ほらね
バサバサ
オー
やる〜
いいぞ

なかなかやる・・・
ブッ
バッ
ハッ！
その体型その色
まさかきさま・・・
ズア
伝説の青きしずくか・・・!!
なにそれ
伝説〜〜!?
青きしずく〜!?
ス・・・スラリンのことだよ
たぶん
え？
オイラ青木しずくさんじゃないよ
名まえじゃねエよ

ウワサの主がまさか伝説の青きしずくだったとはな
フッ
こんなへんぴな島まで来たかいがあったというワケか！
？
ほかの島のスライム…？
あれ？
どれほどの腕か試させてもらおう
勝負だ!! 青きしずく
ことわる!!
なぜだ!?
もうすぐ夕めしだもん
そゆことだ！
出なおしてきな！
カー
カー
グーグー
グ〜
……
……

第36もり

コケコッコー
日をあらためて来てやったぞ!!
あやつか…!
ふむ
たしかにこの町の者ではなさそうじゃな
だろ?
よその島にもスライムがいたなんて感動じゃな〜い!?
うわあ
ふ〜ん
友好的なヤツならな

くわ
きょうこそ勝負してもらうぞ!
青きしずく!!
青きしずく……!?
そうそう
スラリンのことを伝説の青きしずくとか言ってんだ
グランじいさんなんか知ってる!?
うーむ
青きしずくか……!
……
知らんのう
……
ズコ
青木さ～ん
青木しずくさ～ん
ビシ
おまえだよ!
ビシ
病院か!ここは…

なんでそんなにスラリンと勝負したがるんだよ？
フッ
弱いヤツに答える必要などない
ムッ
なんだと!?
おまえ名まえは…？
弱いヤツに教える名などない！
フッ
〝ステキなお方〟とでも呼んでろ
ムカ
なんだと!!?
キャーステキなおかた♡
キャッ
キャッ
ムカつく野郎だ！
ムキィー!!
やっちゃえ！スラリン
おっしゃ

ギュン!!
スラ・ストライク!!
プン
バッ
かわされた!!
ブルブル
ブルブル
ただ者じゃないんテス
スキあり!!
ギャウ
バッ
おっと
かわした!!
……

すばやさでは互角か！
ならば力くらべではどうだ!!
んぎぎぎ…
ぐぐぐ…
!?
!!
ズズズ…
オオ!!

スラリンがわずかに押してる!!
いいぞ!
くっ
バッ
やるな! 青きしずく
ククク
それでこそ倒しがいがある!!
バア!
わっびっくりした!
ヨーゼフ!!
いきなり出てくんな
思い出したぜふ!
青きしずくってのは勇者さまのことぜふ!

あ！ ちなみに勇者さまってのは勇車に乗って魔王と戦った勇者さまのことぜふ
ふむふむ
ああ！勇車の勇者ね
スライム族はみんな 勇者さまって呼んでたぜふけど…
ワシの記憶が正しければ…
たしか魔界の者たちは勇者さまのことを青きしずくと呼んでたぜふ…
じゃあヤツは魔界のスライムってこと!?
ええ!?
さあ…そこまでは…
魔界のスライムなんているの？
ザワ
ザワ
ザワ
ザッ
とっておきの技を見せてやる
かくごしろ青きしずく
！

シャイニングスライバスター
うわあああ〜〜〜!!
スラリ〜ン!!!
ダウ!!
ぐはっ
フッ
勝負あったな
ピクピク

!?
ピッ
ぐら…
ヨロ…
な…!?
こ……これはいったい…!?
ジ…
当たる瞬間頭つきしてやった
ヘヘ
ムク
オー!
カントリーが効いただろ
カウンターな
バカな…!!いまの一瞬で反撃してたというのか…
それも捨て身の攻撃を…なんてヤツだ…!!
今回はオレの負けだ……
ザザーッ
いやあ…引き分けでいいんじゃない
フッ

オレの名はスライバ
覚えておくがいい!
ギッ…
さらばだ! 青きしずく
青木さ〜ん
くどいっつーの!
フフッ
ザザザ…
それにしても…
ギッ
ギッ
…あいつ手こぎの小舟でこの島まで来てたのか…
すご〜い
やっぱりただ者じゃないんテス
ザザーッ

第37もり

ババーン
おにいちゃん大変なの…
どうした!?
スラみのおやつがなくなってるの…
グスン
ズコ…
おやつかい!!
ただのおやつじゃないんだから!!
ブルンブルン
まぼろしのももんじゃクッキーなんだから!!
はいはい…

ジャーン!!
キメッ
身内の犯行っスね
名探偵ドラお登場!!
ドラお…
スラみちゃんとスラリンくんはあい部屋っスね……!
ふむ
ふむ
ズバリ!
ビシッ
犯人はあなたっス!!
そっかー
オイラが犯人かぁ
ななな
バカいえ!
スラリンは朝からずっとオレと一緒に町のパトロールしてたんだぞ!!
ブーッ
ブーッ
おにいちゃんが盗み食いなんかするわけないでしょ

……では
スラリンくんは
無罪という
ことで……
はーい
異議な〜し!!
そもそも
平和を愛する
スライム族に
ぬすっとが
いるわけねェだろ
それも
そうっスね
……となると
あやしいのは
……
なんやねん!
こないなとこ
呼び出して
スラリンのいえ
え?
きょうは朝から
ずっと家におったで
アリバイ
なしと…
キラーン
はあ!?

マドハンドは地面にもぐって移動できるっス
ズボ
?
スススス
したがってだれにも気づかれずにスラみちゃんのおやつを盗むことも可能っス
ズバリ！
ビシ
犯人はあなたがたっス!!
ぐわ
ちょいまてや！
なに言うてんねん!!
わてらがもぐって動けるのは平らなとこだけやで！
トコトコ
階段とかはふつうに歩いてのぼらなあかんねんで！
ここ2階やろが!!
ブー
ブー
かってにあがったらバレるいうねん！

で…では
マドハンズも
無罪ということで……
はーーい
異議なく〜し!!
さっきから少しも捜査が進展してねェぞ
探偵さんよお…
オホン
……
なんかあったぜふ?
ババッ
わっ
ヨーゼフ!!
ああ〜!!

ゴーストは姿を消したり瞬時に移動したりできるっス
ばあ
したがってだれにも気づかれずにスラみちゃんのクッキーを盗むことも可能っス
ズバリ!
犯人はあなたっス!!
ぬれ衣ぜふ!
幽霊は何も食べないんぜふ
・・・・クッキーなんて盗むわけないぜふ
やはりきさまか!!
犯人でなければなぜ盗まれたのがクッキーだと知っている〜!?
……自分で言ったぜふ
え!?
言ったっスか!?
言ったよ…
まったく…
とんだ名探偵だぜ…

で…で…では
ヨーゼフさんも
無罪ということで……
はーい
異議な〜し!!
…となると
真犯人は
いったい…
アセ
アセ
アセ
なにか
手がかりは…
……
ん?
ザッ
ザッ
ザッ
パキッ
クセ者!!
スラ・ストライク!!
ド
…

……
ドサァ
!?
だれ…?
妖精の子ぜふ…
かくれみので姿を消してたんぜふな
キミ! ボクの姿が見えたんだね
キミこそ勇者さまだ〜!!
ガバ
キミをさがしてたんだよ!!
?
あ〜! クッキーの食べカス!!
おまえが犯人だな

2スラリンと復活の勇車(完)

キャラもり

11

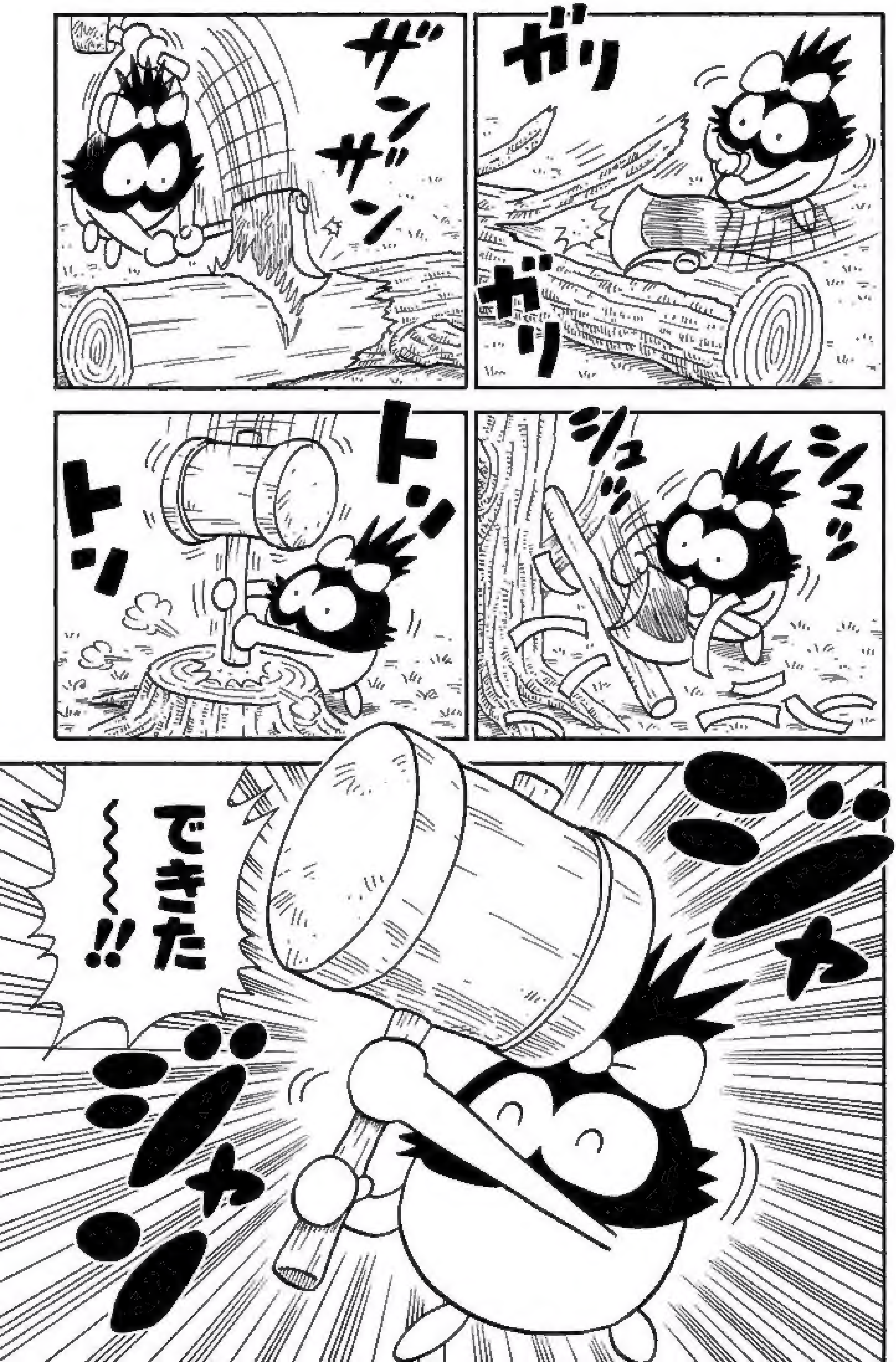
スライバ

種族：スライム?
特技：シャイニングスライバスター

さすらいのスライム戦士。ギガおやミイホンを圧倒する戦闘力を誇る。スラリンを青きしずくと呼ぶ彼は、何かの秘密を知っている!?

番外編 タンタンと木づち
やっ!!
シュッ
シュッ
ハッ
うーーんどうもしっくりこないなぁ…
ぶぅ
やっぱりオラっぴは木づちじゃないと…
でも木づちは前巻の第18もりで大砲でふきとばされたときどっかにいっちゃったんだよなぁ……
ドーー

…………
よし!
作(つく)るか!!
グッ
トコトコ
トコ
ガッ
ガッ
ガッ
ドドーン!


ガリ
ガリ
ザン
ザン
シュッ
シュッ
トッ
トッ
できた〜〜〜!!

これでオラっぴも
スーラン警備隊
として みんなの
役に立てるぞ
おお！
タンタン
ちょうど
よかった
？
ぺったん
ぺったん

番外編　タンタンと木づち（完）

DIGITAL
SHUEISHA JUMP COMICS

スライムもりもり

2巻

かねこ統
© かねこ統 2007, 2013

©2003 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SQUARE ENIX

©2005 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SQUARE ENIX

初版発行　　　　2007 年
デジタル版発行　2013 年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信(インターネット上への掲載を含む)することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。